



佐賀市立金立小学校 学校便り 第13号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



受け継がれていくべきもの

令和8年3月12日発行

文責 校長 泊 裕人



学校 HP もご覧ください

いよいよ明日は卒業式。

その本番に向けて、6年生は先週初めから練習がスタート。毎日、入退場や証書授与、お別れの言葉の練習に繰り返し取り組んできました。また、1~5年生の子どもたちも、精一杯の気持ちで6年生を送り出せるよう、日々の練習を頑張っているところです。お互いがお互いの存在に感謝し、



その気持ちをさまざまな形で表すことができる場。それが卒業式です。「6年間の小学校の教育課程を終えた」ということに加え、感謝の気持ちを伝える、感じるができる場であることこそが、学校行事の中でもっとも重要な儀式と言われる理由だと思います。それぞれの想いを余すことなく伝えてくれればと願っているところです。

2月27日(金)の「6年生ありがとう集会」でも感謝の気持ちは伝えました。ご参加いただいたみなさんには伝わったはずですが、本当に素晴らしい会だったと思います。

6年生入場



オープニングセレモニー(4の2)



6年生に取ったアンケートをもとに表やグラフを作り、クイズ形式で発表しました。

1年生



似顔絵を見せながら好きな食べ物を紹介したときの6年生の優しい笑顔が印象的でした。





手話を使いながら歌をプレゼントしました。優しい気持ちが伝わってきます。

2年生



3年生

6年生の活躍する様子を劇にしました。ステキな場面がたくさんありましたね。



4年生



6年生はじめ、全学年を巻き込んだダンス。自然と笑顔があふれます。



5年生

コント、クイズにダンス。そして、作詞・作曲した歌。感謝のみならず、来年度への決意が感じられる発表でした。



各学年からの発表の間、観ている側の子どもたちが手拍子をしたり、ダンスに参加したりと一緒に参加し、みんなで盛り上げ楽しんでいる姿が見られました。その雰囲気は何だかあったかい気持ちになりました。プレゼントを受けて、主役の6年生もお返しの劇を。



6年生



5年生以下の気持ちに応えるような形で、楽しみながら発表してくれました。



そして、歌。音楽には、不思議と人の心を動かす力があると改めて感じる事ができました（卒業式でも数曲歌います）。



サプライズのくす玉(4の1)

明日の卒業式はまた雰囲気が違うものになります。ただ、これまで6年生が築き上げてきた金立小学校の伝統は、間違いなく『受け継がれていくべきもの』ですし、これまでの卒業生から繋がれてきた襷のようなものです。渡す側、受け取る側のどちらの気持ちも詰まった式になることと期待しています。



楽しみに明日を待ちましょう。